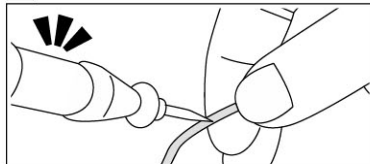


⚠️ 取り付け時の注意

- 車両のネジや金具に配線を挟み込まないよう注意してください。断線やショートにより故障や発火の原因になります。
- 本体の分解・コードの切断などの加工はしないでください。発熱・発火の原因になります。
- 安全の確保など、取り付け作業は自己責任においておこなってください。

🔧 取り付け手順

1 アクセサリー電源を探す



検電テスターを使用し、アクセサリー電源の配線を探してください。アクセサリー電源はナビオーディオの裏側やハンドル周辺パネルの裏側などから確保することが出来ます。
※ヒューズボックスから確保する場合は、適合するヒューズ電源を別途お買い求めください。

POINT アクセサリー電源って？

エンジンをかけずにカーオーディオやナビを動作させることができる電源

■プッシュスタート車の場合

ブレーキを踏まずに押す



ブレーキを踏まずにプッシュスタートボタンを押すとアクセサリー電源がONに！その状態で検電テスターが光る配線を探そう！

■キー差し込み車の場合

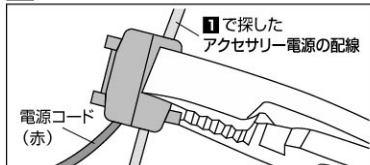
ACC位置にする



キーをACC (アクセサリー) の位置にして、検電テスターが光る配線を探そう！

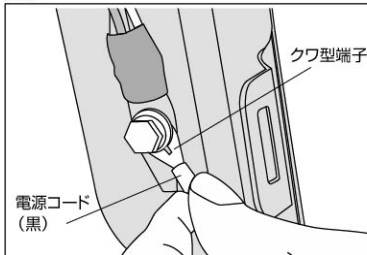
※探し出した配線が、プッシュスタートOFF状態・キーロック位置で検電テスターが光らないことを確認してください。

2 アクセサリー電源を分岐させる



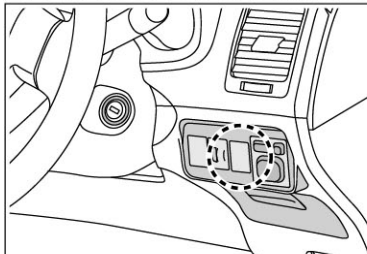
手順1で探し出した配線に付属の電源コード(赤)のコネクターを接続してください。配線コネクターは、カチッとロックされるまでプライヤーで確実に挟み込んでください。

3 ボディーアースを接続する



車両の金属部分(ボルト部)に付属の電源コード(黒)を接続してください。
※ラチェットレンチなどを使用し、ボルトと電源コードのクワ型端子を共締めしてください。

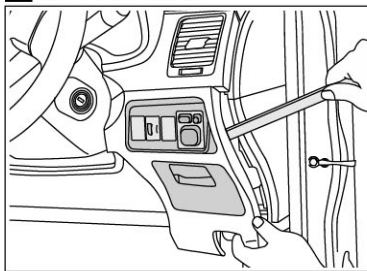
4 空きスイッチパネルの位置を確認する



ハンドル周辺の空きスイッチパネルの位置を確認してください。

POINT 車種によってはハンドル周辺以外にも空きスイッチパネルが有るかも…

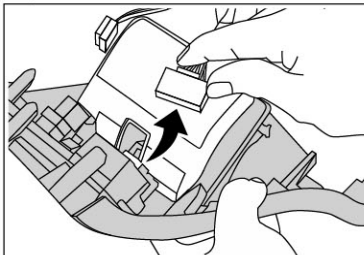
5 周辺パネルを外す



パネルはがしを使って丁寧に外してください。ネジ止め箇所がある場合はドライバーを使用して外してください。
※車種によって周辺パネルの取り外し方が異なります。

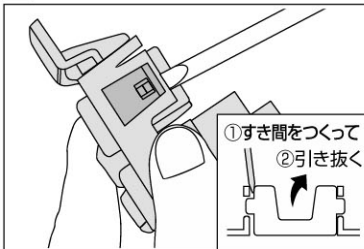
POINT パネルはがしが当たる場所を養生テープなどで保護するとキズ防止になる！

6 純正コネクターを外す



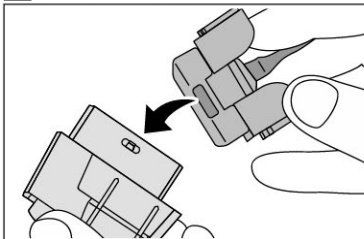
純正スイッチなどのコネクターが接続されている場合は、外したパネルから純正コネクターを抜いてください。

7 空きスイッチパネルを外す



マイナスドライバーなどを使用してツメのロック部分にすき間を作り、後方に引き抜くように取り外してください。

8 本体を取り付ける



本体の向きに注意して、周辺パネル後方からカチッと音がするまで押し込んでください。

POINT 向きに注意だっ！

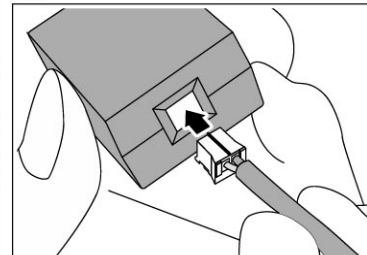


← USBマークが下 ※

※横向きに取り付ける場合はUSBマークが右側

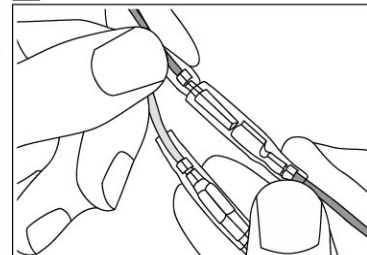
※適合する車種により、本体の形状はイラストと少し異なります。

9 USB充電ユニットを接続する



本体側のカプラーをUSB充電ユニットに差し込んでください。
※カプラーには向きがあります。必ず正常にカプラーが取り付けられているか確認してください。

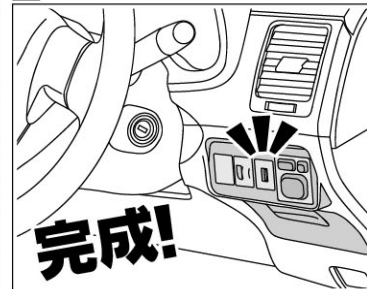
10 電源コードを接続する



手順2、3で接続した電源コード(赤・黒)をUSB充電ユニットのコード(赤・黒)に接続してください。

POINT 運転の妨げにならないよう、各コードは付属の配線バンドでしっかりと固定しよう！

11 周辺パネルを元に戻す



手順6で外した純正コネクターを接続して、取り外した周辺パネルを元に戻してください。

完成!

| | | |
|----|--|---------------------------------------|
| 材質 | 本体・USB充電ユニット/PBT ケーブル/導体:電気用軟銅線・絶縁被覆:塩化ビニール ヒューズホルダー/ポリプロピレン | 端子/黄銅 コネクター/ナイロン66 配線バンド/ナイロン66 |
|----|--|---------------------------------------|